



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 武田 安夫
 (氏名) 須多 敦子

TEL 079-235-6005

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	40,239	△4.7	2,288	△33.1	2,057	△38.3	754	△62.4
24年3月期第1四半期	42,244	17.1	3,420	14.6	3,335	15.8	2,007	21.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 339百万円 (△85.0%) 24年3月期第1四半期 2,261百万円 (268.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.68	—
24年3月期第1四半期	12.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	216,077	96,686	44.5
24年3月期	212,364	96,993	45.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 96,214百万円 24年3月期 96,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	4.00	9.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご参照ください。)

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	80,000	△6.0	3,200	△49.7	3,000	△50.1	1,700	△52.3	10.54
通期	170,000	△1.0	9,400	△17.2	9,000	△18.1	5,300	△17.3	32.85

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	167,124,036 株	24年3月期	167,124,036 株
25年3月期1Q	5,771,536 株	24年3月期	5,770,712 株
25年3月期1Q	161,353,129 株	24年3月期1Q	161,373,727 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、今後の電力供給事情等、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。)

当期の配当につきましては、事業環境の先行きが不透明であるため、現時点では具体的な金額は未定であります。配当予想額につきましては、今後の事業環境を見極めつつ検討を行い、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

【添付資料】

(目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成24年4月1日～平成24年6月30日）のわが国経済につきましては、東日本大震災からの復興需要や昨年末に再導入されたエコカー補助金の政策効果などを背景として、景気は緩やかに回復しつつあるものの、欧州の金融不安およびこれらを背景とする海外経済の減速や、歴史的な円高の継続、さらには電力の安定供給への深刻な懸念などにより、先行きについては懸念が深まる状況で推移いたしました。

特殊鋼業界におきましては、エコカー補助金の再導入効果などにより、自動車業界向けの需要が比較的堅調だったのに対し、その他の分野については、中国をはじめとする新興国経済の減速に伴う需要減などにより厳しい状況で推移いたしました。

このような中、当社グループの当第1四半期の販売数量は、前年同期とほぼ同じ水準となりましたが、鉄スクラップ・サーチャージ制度の下、鉄スクラップ価格の下落を反映した販売価格の下がりなどにより、売上高につきましては、前年同期比20億4百万円減の402億39百万円となりました。利益面につきましては、コストダウンの実施にも注力いたしましたが、燃料・電力価格の上昇、円高の影響や減価償却費の増加などにより、経常利益は、前年同期比12億78百万円減の20億57百万円となりました。四半期純利益につきましては、上述、経常利益の減少の他、株価の下落により、投資有価証券評価損を計上したことなどにより、前年同期比12億52百万円減の7億54百万円となりました。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

鋼材事業

自動車業界向けの需要が比較的堅調だった一方で、その他の分野については、中国をはじめとする新興国経済の減速などにより低位で推移したことなどから、当第1四半期の販売数量は前年同期とほぼ同じ水準となりましたが、鉄スクラップ・サーチャージ制度の下、鉄スクラップ価格の下落を反映した販売価格の下がりなどにより、当第1四半期の売上高は、前年同期比19億61百万円減の370億72百万円となりました。営業利益につきましては、コストダウンの実施にも注力いたしましたが、円高の影響や燃料・電力価格の上昇、減価償却費の増加などにより、前年同期比4億77百万円減の23億49百万円となりました。

特殊材事業

耐熱・耐食合金、金属粉末製品などの製造および販売を行っており、当第1四半期の売上高は前年同期比38百万円増の16億5百万円、営業利益は前年同期比93百万円増の2億53百万円となりました。

素形材事業

自動車業界向けの需要が比較的堅調だったことなどにより、当第1四半期の売上高は前年同期比1億3百万円増の41億17百万円、営業利益は前年同期比2億14百万円増の4億67百万円となりました。

その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第1四半期の売上高は前年同期比1億34百万円増の2億87百万円、営業利益は前年同期比6百万円増の0百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産残高は、有形固定資産、たな卸資産の増加などにより、2,160億77百万円（前期末比37億12百万円増）となりました。

負債残高は、借入金の増加などにより、1,193億90百万円（前期末比40億19百万円増）となりました。

純資産残高は、その他有価証券評価差額金の減少などにより966億86百万円（前期末比3億6百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、欧州の金融不安が継続すると考えられることや、それが与える新興国経済への影響、円高基調の継続、さらには電力供給懸念等の不安要素が多く、当社グループを取り巻く事業環境は、不透明な状況が続くと考えられます。

こうした中、当社グループとしては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力するとともに、需要動向に即した生産に徹し、新たに稼動する60トン連続鋳造設備の活用をはじめとするコストダウンを推進するなどの内部努力を重ね、さらには鉄スクラップ・サーチャージ制度の維持など、需要家ニーズに的確に対応しつつ、高品質の特殊鋼を安定供給出来る事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組む所存であります。

以上を総合的に勘案し、第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、平成24年4月26日に公表させていただいた数値を据え置くことといたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、今後の電力供給事情等、様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,556	19,697
受取手形及び売掛金	61,862	58,452
商品及び製品	11,368	13,178
仕掛品	22,457	23,381
原材料及び貯蔵品	15,297	14,548
その他	3,497	3,124
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	133,032	132,377
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	36,596	36,955
その他(純額)	29,252	34,636
有形固定資産合計	65,849	71,592
無形固定資産	711	713
投資その他の資産	12,771	11,393
固定資産合計	79,332	83,700
資産合計	212,364	216,077
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,344	16,928
短期借入金	36,134	41,855
未払法人税等	2,456	142
賞与引当金	2,294	1,111
役員賞与引当金	92	16
その他	18,842	20,940
流動負債合計	78,165	80,994
固定負債		
長期借入金	34,569	35,929
退職給付引当金	1,233	1,256
役員退職慰労引当金	57	60
環境対策引当金	294	294
その他	1,051	855
固定負債合計	37,206	38,396
負債合計	115,371	119,390

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,596	22,596
利益剰余金	54,933	55,042
自己株式	△1,767	△1,767
株主資本合計	95,944	96,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,419	730
為替換算調整勘定	△806	△569
その他の包括利益累計額合計	612	160
少数株主持分	435	472
純資産合計	96,993	96,686
負債純資産合計	212,364	216,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	42,244	40,239
売上原価	35,755	34,666
売上総利益	6,488	5,573
販売費及び一般管理費	3,067	3,284
営業利益	3,420	2,288
営業外収益		
受取利息	3	12
受取配当金	84	70
その他	55	88
営業外収益合計	143	170
営業外費用		
支払利息	123	183
為替差損	65	115
その他	39	102
営業外費用合計	228	401
経常利益	3,335	2,057
特別利益		
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	488
固定資産除売却損	57	87
特別損失合計	57	576
税金等調整前四半期純利益	3,283	1,480
法人税、住民税及び事業税	388	100
法人税等調整額	873	615
法人税等合計	1,262	716
少数株主損益調整前四半期純利益	2,021	764
少数株主利益	13	9
四半期純利益	2,007	754

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,021	764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	175	△689
為替換算調整勘定	54	237
持分法適用会社に対する持分相当額	9	26
その他の包括利益合計	240	△425
四半期包括利益	2,261	339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,240	302
少数株主に係る四半期包括利益	21	36

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,645	1,566	4,014	42,226	17	42,244	—	42,244
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,387	—	—	2,387	135	2,523	△2,523	—
計	39,033	1,566	4,014	44,614	152	44,767	△2,523	42,244
セグメント利益 又は損失(△)	2,827	160	253	3,241	△6	3,234	185	3,420

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額185百万円は、棚卸資産の調整額167百万円、セグメント間取引消去25百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△6百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,493	1,605	4,117	40,217	22	40,239	—	40,239
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,578	—	—	2,578	264	2,843	△2,843	—
計	37,072	1,605	4,117	42,795	287	43,083	△2,843	40,239
セグメント利益	2,349	253	467	3,071	0	3,071	△782	2,288

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。
2. セグメント利益の調整額△782百万円は、棚卸資産の調整額△793百万円、セグメント間取引消去17百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△7百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

参考資料

平成25年3月期 第1四半期決算発表

1. 当第1四半期の業績と業績予想

(単位：百万円、%)

	当第1四半期 (実績)	前第1四半期 (実績)	増減額	増減率	業績予想(4/26公表)	
					第2四半期 累計期間	通期
売上高	40,239	42,244	△2,004	△4.7	80,000	170,000
営業利益	2,288	3,420	△1,131	△33.1	3,200	9,400
経常利益 (ROS)	2,057 (5.1)	3,335 (7.9)	△1,278 (△2.8)	△38.3	3,000 (3.8)	9,000 (5.3)
当期純利益	(注) 754	2,007	△1,252	△62.4	1,700	5,300
設備投資	8,225	2,742	5,483	200.0		16,000
減価償却費	2,564	2,344	219	9.4		12,500
棚卸資産評価損影響	132	112	20	18.4		—
〃 を除く経常利益	1,924	3,223	△1,299	△40.3		9,000

(注) 特別損失に投資有価証券評価損 488百万円を計上している。

(参考) 四半期業績推移

(単位：百万円、%)

	24年3月期				通期	25年3月期 4-6月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期		
売上高	42,244	42,862	44,435	42,258	171,800	40,239
営業利益	3,420	2,948	3,199	1,781	11,348	2,288
経常利益 (ROS)	3,335 (7.9)	2,677 (6.2)	3,185 (7.2)	1,797 (4.3)	10,995 (6.4)	2,057 (5.1)
当期純利益	2,007	1,557	1,744	1,098	6,407	(注) 754

(注) 特別損失に投資有価証券評価損 488百万円を計上している。

2. 当第1四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 原燃料価格	26	1. 販売数量・価格・構成	19
2. 変動費のコストダウン	7	2. 固定費の増加	2
		3. 原価現出差異	16
		4. その他	9
計 (A)	33	計 (B)	46
		差引 (A) - (B)	△13